学校番号	119

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合「自立・共生・創造」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
- 生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。他の人の考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもち、広げましょう。
- 実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
- 学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察、ワークシートの記述、製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価等	学習状況の観察、ワークシートの記述、製作計画、実習記録表、レポート、発表、定期考査の結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察、ワークシートの記述、写真、製作品、察記録表、レポート、発表、定期考査、実技テストの結果、自己評価・相互評価等	学習状況の観察、ワークシートの記述、調理計画、製作計画、実習記録表、観察記録表、レポート、発表、定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	住生活をつくる	○住生活について考える ○住生活の計画と選択 ＊住居模型製作 コンテスト ○住生活の文化と知恵 ○これからの住生活	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:生涯を見通して、住居の機能や住環境の計画などについて関心を持ち、安全で環境に配慮した住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:ライフスタイルや価値観に応じた、生命と健康を守るための暮らしのあり方について考え、工夫している。家庭内事故や防災など、近年の安全な住環境の課題について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 c:安全で快適、かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d:住居の機能、住環境などについて科学的に理解し、安全で快適、かつ健康な住生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 定期考査
6 7 月	高齢社会を生きる	○高齢期を理解する ＊高齢者のイメージ ○高齢者の心身の特徴 ＊高齢者体験メガネ製作 ○高齢者を支える ○これからの高齢社会	○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち、高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。 b:高齢者の生活について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:高齢者と適切に関わることができたり高齢者の自立生活を支える技術を身に付けている。 d:高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。高齢者の尊厳を保ち、残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。	授業観察 ﾜｰｸｼｰﾄ ﾚﾎﾟｰﾄ 製作物 発表 定期考査

	共に生き，共に支える	○私たちの生活と福祉 ○社会保障の考え方 ○共に生きる 誰もが暮らしやすい社会を目指して―ユニバーサルデザイン― 地域の防災力を高めよう ＊災害用食料試食	○ ○ ○	○	○	○ ○ ○	a:共生社会と福祉について家庭や社会の一員として関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:社会制度の理念と内容やボランティアのあり方について考えを深める。共生社会を成立させるための課題を見いだし、その解決をめざし社会の一員として何ができるか考え、工夫している。 c:地域で行われているコミュニティ活動や NPO 活動などについて、情報を収集・整理したり、参加したりする技術を身に付けている。 d:共生社会と福祉について理解し、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的な支援が果たす役割を認識するための知識を身に付けている。	
		1学期末考査		○	○	○		定期考査
8 月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊自由テーマ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 自己評価 相互評価

9 10 11 12 月	食生活をつくる	○食生活の課題について考える ＊ペットボトル飲料の糖度実験 ○食事と栄養・食品 ＊栄養素の食品群分け ○食生活の安全と衛生 ○生涯の健康を見通した食事計画 ＊咀嚼力診断 ○調理の基礎 ＊調理実習 ○食生活の文化と知恵 ○これからの食生活	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活、ライフスタイルと環境、食文化に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:食事と健康、安全と環境に配慮した食生活について、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。食品の購入から廃棄、環境との関わりなど、持続可能な食生活について考え、工夫している。 c:生涯を通して健康で安全かつ環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理、食品衛生等の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。ライフステージの異なる家族に合わせて適切な献立作成ができる。 d:栄養、食品、調理、食品衛生、ライフスタイルと環境などについて実験・実習を中心とした学習を通して科学的に理解し、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 ワークシート 実習計画 実習レポート 実技テスト 定期考査
		2学期末考査		○	○	○		定期考査
1 月		○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊名前の由来調べ 調査研究、個人発表	○	○	○	○	a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:生活上の課題を見いだし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。 c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。 d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。	レポート 発表 自己評価 相互評価

1 2 3 月	子どもと共に育つ	○命を育む ○子どもの育つ力を知る ○親として共に育つ ＊おむつを科学する ＊ダイアモンドランキング ＊離乳食実習 ○子どもとの触れ合いから学ぶ ＊赤ちゃん抱っこ・名付け親コンテスト ○これからの保育環境	○ ○	 ○	 ○	 ○ ○ ○	a:子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの発達と保育について、家族や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもと適切に関わることができたり、子どもの発達の実際や生活の様子について観察したりすることが出来る。子どもの健やかな発達を支える技術を身に付けている。 d:生命の尊さ、子育ての意義の重要さについて理解している。子どもの発達と保育について理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。	授業観察 ワークシート レポート 発表 観察記録表 定期考査
		学年末考査		○	○	○		定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。